

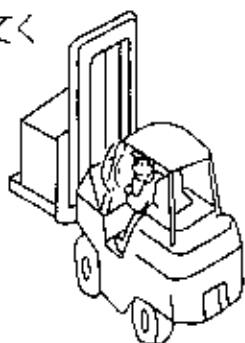
# 組立説明書

パレットラック

---

搬入・組立をする前に必ず以下の注意事項を厳守して作業を始めて下さい。

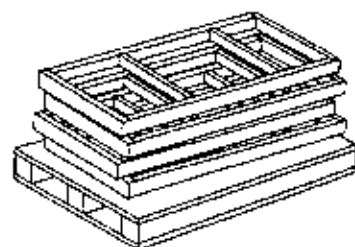
- フォークリフトを使用する際は、安全に注意してください。(運転免許所持者が運転すること)  
フォークリフトで搬入する際は、必ず周囲の安全を確かめて、事故の起きないように注意してください。



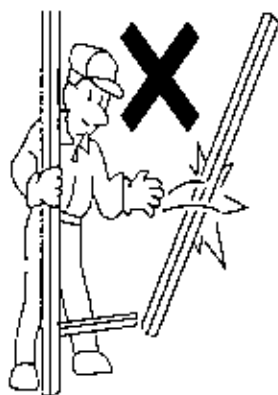
- 作業は素手でしないでください。  
すべり止めのついた手袋を着用して作業してください。部品が重いため、すべり落とすなどケガの原因となります。



- 部材の保管はパレットまたは、角材の上に置いてください。  
製品にキズがつかないように注意してください。



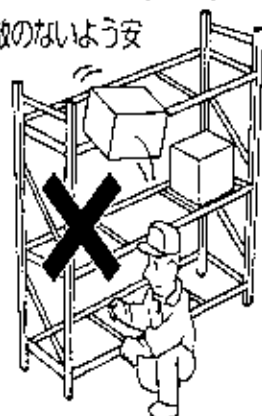
- 部材はていねいに扱ってください。  
部材を運ぶ際は投げたり、乱暴に扱ったりせず、ていねいに扱ってください。



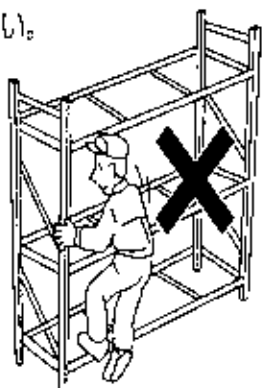
- 重荷物・長物は2人以上で運んでください。  
支柱・ビームなどの重荷物・長物を運ぶときは、必ず2人以上で運び、周囲に充分注意してください。



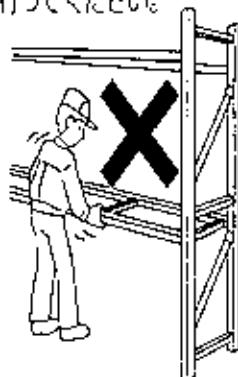
- 組立て時は周囲の安全に注意してください。  
製品の組立時は、上から落下物や足元に注意しケガや事故のないよう安全に作業を行ってください。



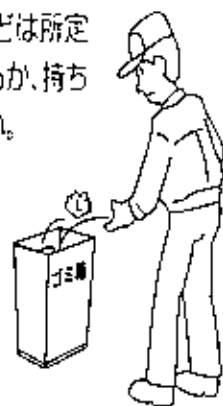
- 組立て時に製品に乗らないでください。  
組立て時に製品の上に乗らないようにしてください。



- ビームの変更は1人では行わないでください。  
作業は必ず2人で行ってください。  
ビームの落下や、転倒などケガの原因となります。



- ゴミは現場に残さないようにしてください。  
廃材やゴミなどは所定の位置に捨てるか、持ち帰ってください。



安全に末永くお使いいただくために次の事項を必ず守ってください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



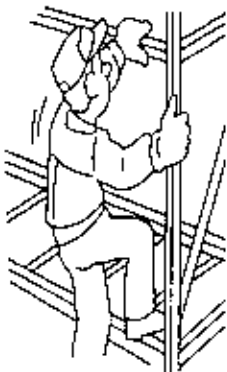
**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**警告**

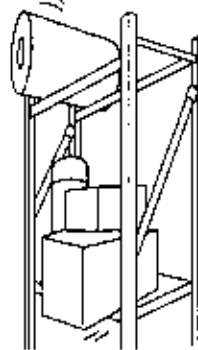
● 棚にのぼらない。

ラックの転倒や、転落などケガや事故の原因となります。



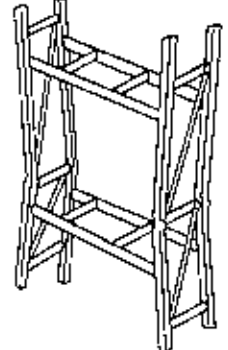
● 不安定な収納はしない。

荷くずれや転倒、落下などケガや事故の原因となります。



● 異常を発見したまま使わない。

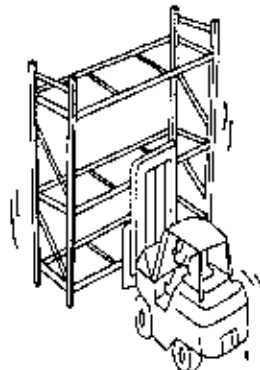
転倒、落下などケガや事故の原因となります。



**注意**

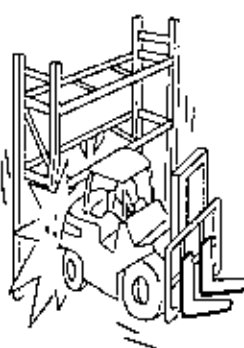
● フォークリフトでビームを持ち上げない。

ビーム、サポートの外れ・落下、ラックの転倒、荷の落下など、ケガや事故の原因となります。



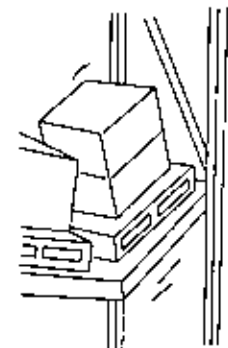
● フォークリフトをぶつけない。

ラックの転倒、荷の落下などケガや事故の原因となります。



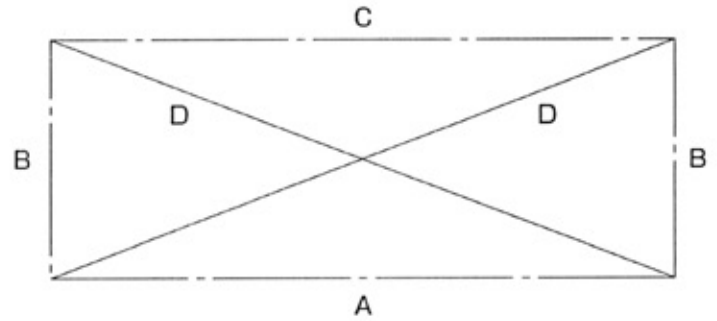
● 最大積載質量以上の重畳物を乗せない。

ビームの落下や破損、荷の落下などケガや事故の原因となります。



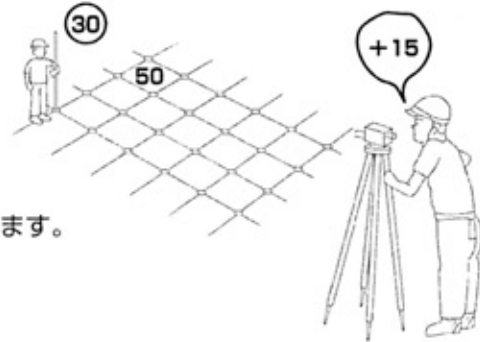
## 1 墨出し(アンカー芯)

- 設計図の基づき床面に基準線Aを引く。
- A線に垂直なBとB'線を引く。
- A線に平行なC線を引く。
- 対角D線で平行と直角の確認をする。
- 設計図に基づき、ラックレイアウトの割り付けをする。



## 2 床のレベル測定

- 図面に測定値を記入します。
- 床レベルの最高値と最低値の差を調べ別に記入します。
- この数値が支柱下部の脚端金具下に入るライナーの厚みです。  
(例) 最高値50mm、最低値20mmとしたら  
最高値を0とし、最低値 →  $50\text{mm} - 20\text{mm} = 30\text{mm}$ と記入します。



## 3 アンカー孔あけ

- ハンマードリルを使い、床に孔をあけます。
- 孔をあけたら、孔の中を掃除機でコンクリート粉を吸取ります。

## 4 支柱パネルの組立

支柱2本を図1のようにリン木のような台の上に置き、横材・斜材をボルト・ナット・平ワッシャーで取り付けます。支柱の高さ別の横材・斜材の組み合わせは、図2の支柱パネル組立図を参照願います。

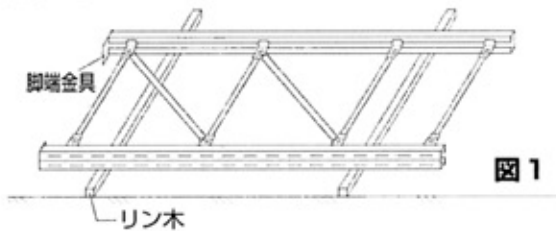
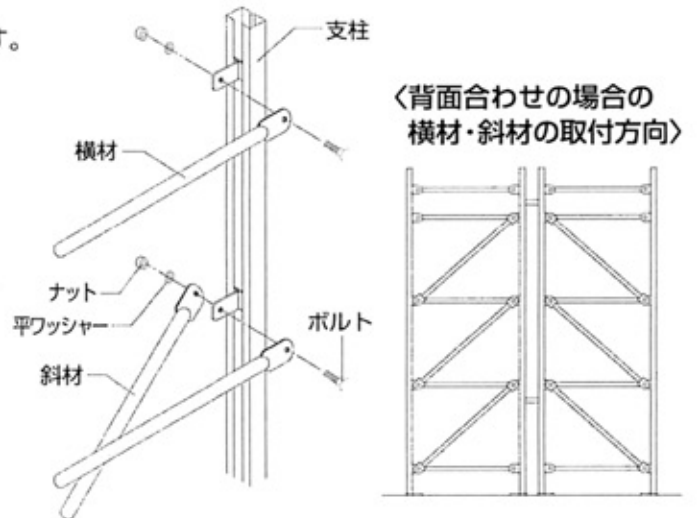


図1

### 図2 <支柱パネル組立図>

各支柱パネル高さにより、下記の通りに組み立てます。



<背面合わせの場合の横材・斜材の取付方向>

<注>	横材・斜材	ボルト
支柱 75W	31.8φ	M10×30L
支柱100W	38.1φ	M12×35L

2,400H

3,000H

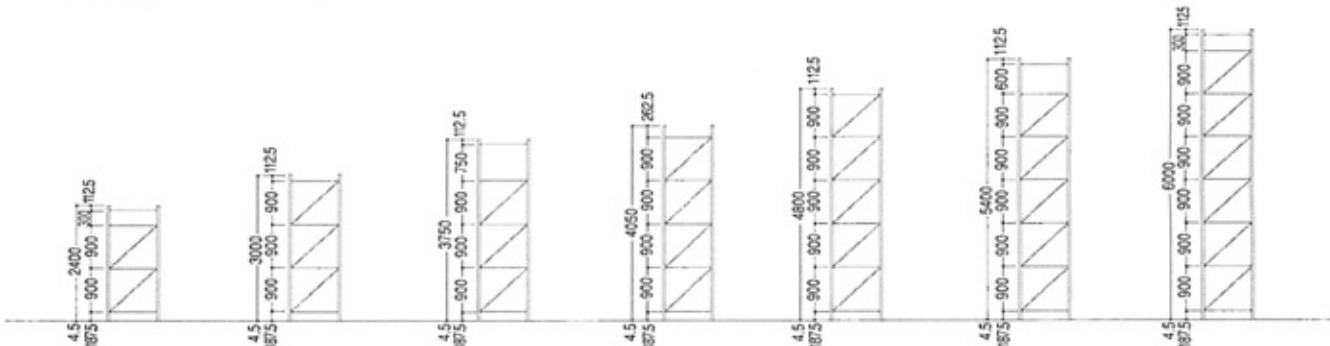
3,750H

4,050H

4,800H

5,400H

6,000H



## 5 支柱パネルの設置

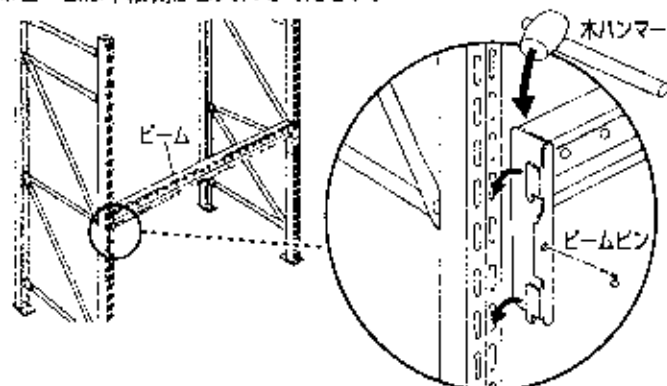
支柱パネルが転倒しないようにアンカーボルトを打ち込み、ベース部を固定します。(このとき、レベル分のライナーをベース下に敷きます)

更に、人手で支えるか、ロープ等で建物の天井・壁と結び転倒しないようにしてください。



## 6 ビームの取付

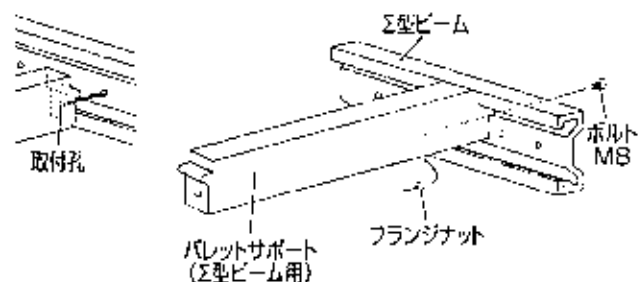
ビームの片側のコネクターのツメを支柱パネルの正面孔に差し込み結合します。次に、反対側のコネクタも同様にします。ビームの上面を木ハンマーでたたいて確実に打ち込み、ビームピンを入れてください。  
※ビームは下段側から入れてください。



## 7 パレットサポートの取付

〈Σ型ビーム〉

ビームの正面の孔に、パレットサポート取付孔を合わせてボルトにて取り付けます。仮止めが完了したら本締めします。

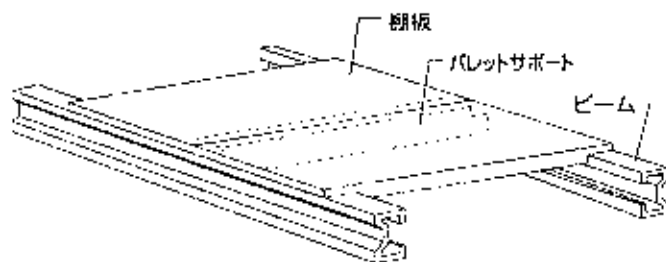


## オプション・施工方法

### ●スチール棚板(Σ型ビーム用)の取付

ビームのおよそ中間部に付属のパレットサポートを1本取付ます。右図のように両ビーム間の上に、棚板を敷き並べます。各間口、奥行きによる組み合わせは下図のようになります。

サイズ(W)	棚板(W)	数量	棚板(W)	数量
1,300	400	1	300	3
2,300	400	5	300	1
2,500	400	4	300	3
2,700	400	6	300	1



### ●ボード(パーティクルボード)棚板の取付

〈Σ型ビーム〉

右図のようにボード取付金具をおき(4ヶ/ボード1枚)、その上からボードを敷きます。

